

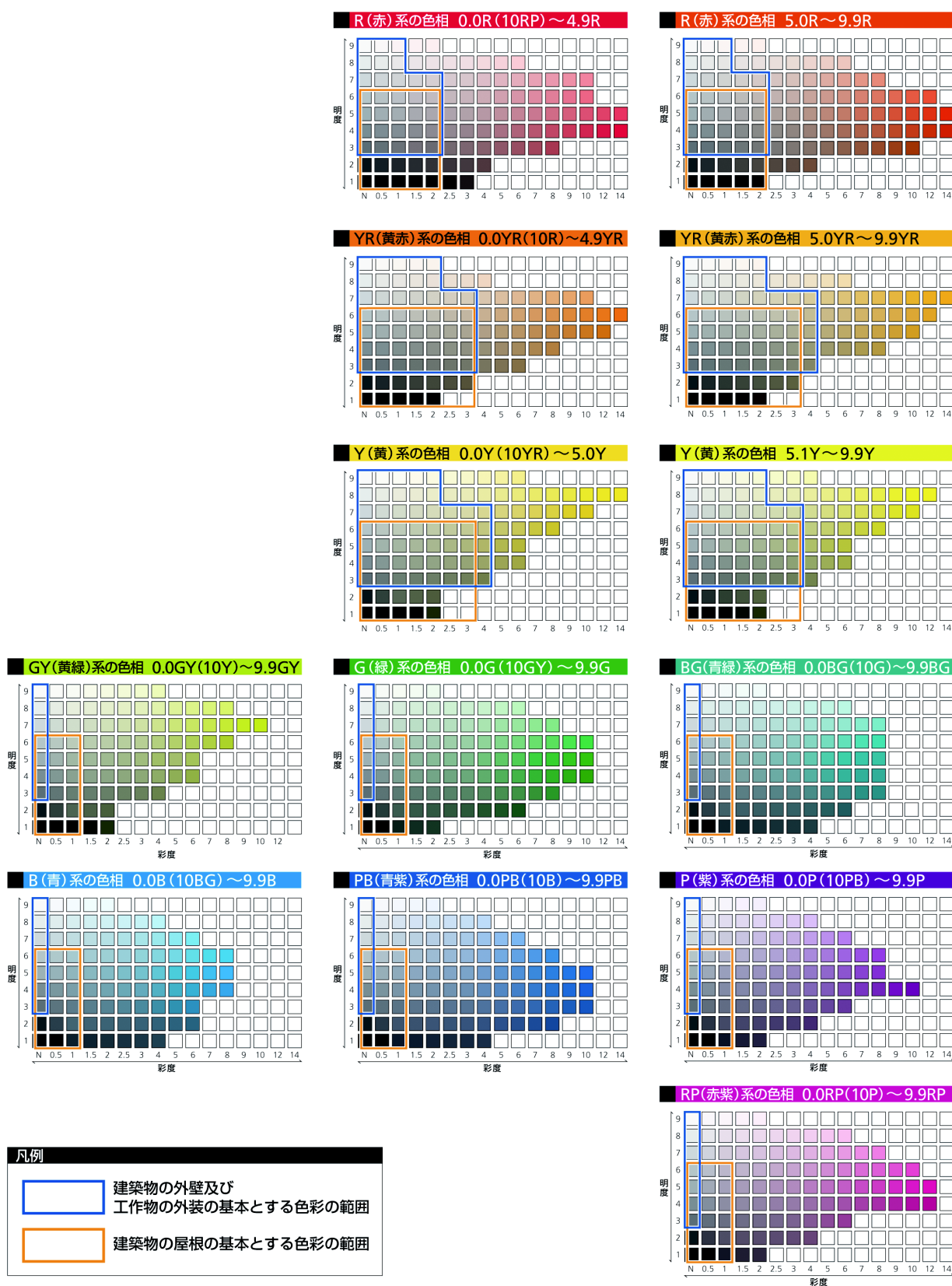


図 外壁・外装および屋根の基本とする色彩の範囲（一般市街地）

イ 建築物や工作物の形態意匠・その他の配慮事項

みどり豊かな落ち着いた景観形成を図るため、低層主体のまち並みとの調和や、積極的な緑化によるみどり豊かな景観の創出に配慮が必要です。

また、建築物や工作物は、適切な配置、壁面、屋根、屋外設備の形態意匠などの工夫により、周辺からの見え方や、周辺との連続性に配慮した空間形成を図ることが必要です。

表 一般市街地における形態意匠等の配慮事項

配慮事項
- 敷地内は積極的に緑化を行い、四季を感じさせる植栽により季節感を演出するなど、みどり豊かな景観を創出する。 - 樹種の選定にあたっては、周囲の自然環境との調和や生物多様性を考慮し、在来種や郷土種などを活用して景観に配慮する。 - 落ち着いた外観とし、まとまりあるまち並みの創出に配慮する。 - 周辺のまち並みから突出する高さとならないよう配慮する。やむを得ず突出する高さとなる場合は、ゆるやかにまち並みが連続するよう、緩衝となるみどりの配置や中・高層部の壁面後退など、地区や通りが持つ空間のスケールに配慮する。

		
みどり豊かな景観の創出	バルコニーの形態の工夫	敷地内と沿道の緑化
		
ごみ置き場の見えにくい配置と緑化	地形を活かしてつながるみどり	駐車場の緑化

表 一般市街地における項目別の形態意匠の配慮事項

項目		配慮事項
建築物等	外 壁	- 隣接する建築物や新旧の建築物相互の壁面の位置や意匠等を協調させ、まとまりのあるまち並みの創出に配慮する。 - 大規模な建築物の場合は、歩行者の目線に近い低層部における良好な景観形成に配慮し、石材などの自然素材やガラスなどの開放感のある素材の使用など、壁面に表情をもたせるよう工夫する。
	屋根・屋上	周辺の住宅と屋根の形状を調和させ、ゆるやかなスカイラインを形成するよう工夫する。
	バルコニー等	- 建物本体と調和した意匠とし、物干し、空調室外機等が露出しないよう透過性の高い形態や素材を避けるなど工夫する（ガラスは透明でないものとするなど）。 - 大規模な建築物の場合は、単調な壁面の連続とならないよう、バルコニー等の形態・意匠を工夫する。
	屋外階段等	大規模な建築物の場合は、屋外階段が通りから目立たないよう、配置を工夫する。
	付帯設備類	設備類（太陽光発電設備等を含む）は通りから目立たない場所に配置する。
	付帯施設	立体駐車場やごみ置場等は、外部から見えにくい位置に設ける。
	照 明	- 住宅地においては、間接照明やみどりととの調和など、暖かみのある光により落ち着きが感じられる快適な住環境に配慮する。 【下図（市街地特性ごとの色温度の目安）の住宅地参照】
工作物等	柵及び塀	敷地境界に柵・塀を設ける場合は、可能な限り高さを抑え、透過性のあるものや生け垣と組み合わせるなど、みどり豊かな通り景観の創出に配慮する。
	柱 類	照明灯やサインポールは、華美な装飾を避け、周辺のまち並みとの調和に配慮する。
	鉄塔、電波塔 煙突、高架水 槽、太陽光発 電設備等	- 周辺に対して圧迫感を与えないよう配慮し、敷地境界から後退させるなど配置を工夫する。 - 落ち着いた形態とし、施設周辺は緑化による修景を行うなど、周辺のまち並みとの調和に配慮する。
	製造施設 貯蔵施設	- 周辺に対して圧迫感を与えないよう配慮し、敷地境界から後退させるなど配置を工夫する。 - 落ち着いた形態とし、施設周辺は緑化による修景を行うなど、周辺のまち並みとの調和に配慮する。
開発行為		- 事業地内のオープンスペースと隣接地のオープンスペースが連続するよう配慮すること。 - 電柱類は、目立たない場所に設置するなどの工夫をすること。 - 沿道側に設置する擁壁やブロックは、化粧タイプ又はそれに準ずる左官仕上げ等とし、周囲からの見られ方に配慮する。

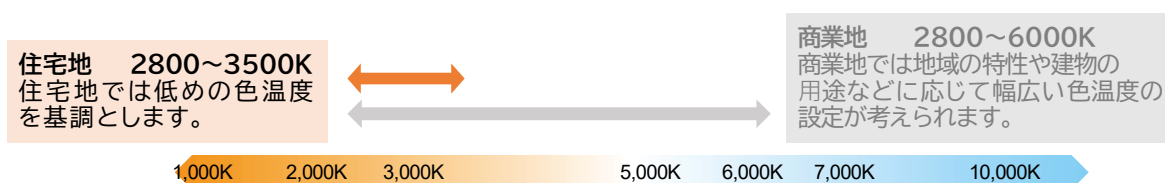


図 市街地特性ごとの色温度の目安

(2) 商業系市街地

にぎわいの中にも秩序や品格が感じられる景観の形成

ア 建築物や工作物の色彩の配慮事項

買い物や食事、娯楽等、市民の交流の場として地域の拠点となる商業系市街地では、にぎわいの中にも秩序や品格が感じられる色彩景観を目指します。

周辺の店舗や商業施設等、地域全体が協力しながら、相乗的に品格の感じられる商業地景観の創出に配慮することが必要です。

表 商業系市街地における色彩の配慮事項

配慮事項	
・市街地としてのにぎわいの中にも品格が感じられる色使いを基本とする。 ・周辺のまち並みとの調和に配慮し、まち並みから突出するような過度に鮮やかな色彩や対比の強い配色を避ける。 ・外観全体の調和に配慮し、外壁や屋根、その他の部位の配色を整える。 ・金属板やガラスなどを用いる場合は、周辺への影響に配慮し、光を強く反射する材料はできるだけ避ける。 ・外観のアクセントとなる色彩を用いる場合又は鮮やかなコーポレートカラー等を用いる場合は、まち並みとの調和、建築物の外観全体の調和に配慮し、面積を抑えたり低層部に集約するなど、小面積で効果的な表現となるよう工夫する。 ・周辺の店舗等と基調色をそろえたりアクセント色を共有するなど、まち並みとしての連続性が感じられる配色を工夫する。 ・ショーウィンドウや季節・催事の演出など、できるだけ可変性のある要素を用い、季節感や変化、活力が感じられるまち並みの形成に努める。 ・テナントビル等は、各事業者が相互に店舗外部の色彩を調整するなど、建築物全体として調和を図る。	
	
各店舗のコーポレートカラーの面積や位置を統一したビル	暖色系色相でまとまっているまち並み
	
品格のある色使いでエントランスを演出した例	建築物と共通する素材を使用し外観全体の調和に配慮した例

表 商業系市街地における項目別の色彩の配慮事項

項目		配慮事項
建築物等	外 壁	● 圧迫感の強い高彩度色や低明度色を避ける。なお、樹林地や斜面林などに近接する場合は、みどりから突出しやすい高明度色（明度 8.0 を超える色彩）の使用を避ける。 ● 部位ごとに色彩を分節化するなど、単調で閉鎖的な外観とならないよう工夫する。 ● 低層部では、質感豊かな材料を用いたり、季節感のある色彩演出を採り入れるなど、にぎわいの連続性を創出する。 ● 高層部では、窓面を利用した派手な広告物等の掲出や過剰な色彩演出を避け、品格あるまち並みの形成を図る。
	屋根・屋上	● 周囲のまち並みから突出しやすい高彩度色や高明度色を避ける。 ● 特に高層建築物においては建築物等の頂部に派手な色彩を用いないよう配慮する。 ● 外壁と色相をそろえるなど、外観全体の調和に配慮する。 ● 陸屋根とする場合は、屋上面の色彩が周囲の家並みから突出しないよう配慮する。
	バルコニー等	● 手すり部は、外壁と調和した色彩や素材を基本とする。 ● 軒天や戸境壁等に違和感の強い高彩度色や低明度色を用いることを避ける。
	屋外階段等	● 屋外階段等は、外壁の色彩との調和に配慮する。
	付帯設備類	● 設備機器や配管、ダクト、太陽光発電設備等は、外壁や屋根の色彩と調和した落ち着いた色彩を用いる。
	付 帯 施 設	● 立体駐車場やごみ置場等は、建築物や外構と調和した落ち着いた色彩を用いる。
	敷地内外構	● 駐車場やエントランスなどの舗装色は、周辺の道路との調和や一体性に配慮する。 ● 植栽柵などの色彩は、周辺の道路やまち並み、当該建築物の外壁等との調和に配慮する。 ● 樹木や草花の色彩演出に配慮し、うるおいが感じられるまち並みの形成に配慮する。
工 作 物 等	柵 及 び 塀	● 柵や塀を設ける場合は、威圧感のある色彩や閉鎖的な色彩を避ける。 ● ネットフェンス等の柵類は、こげ茶やベージュ、灰色など落ち着いた色彩を基本とする。周辺から突出するような白などの高明度色や高彩度色を用いることを避ける。
	柱 類	● 照明柱やサインポールなどの柱類は、こげ茶やベージュ、灰色など落ち着いた色彩を基本とする。
	鉄塔、電波塔 煙突、高架水槽 太陽光発電設備等	● 鉄塔や電波塔は、光沢を抑えたこげ茶や灰色など落ち着いた色彩を基本とする。 ● 太陽光発電設備は、光沢を抑えた落ち着いた色彩を基本とする。 ● 建築物等の屋上等に設置する場合は、建築物等との一体性に配慮し、違和感の少ない色彩を基本とする。
	製造施設、 貯蔵施設	● 周辺との調和に配慮した落ち着いた色彩を用いる。

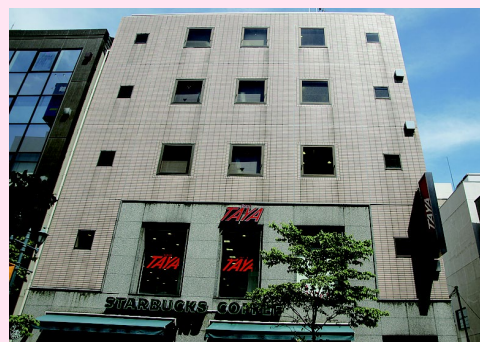
表 大規模建築物等の外壁・外装の基本とする色彩（商業系市街地）

色相	明度	彩度	備考
R(赤)系	8.0 以上	1.0 以下	※
	3.0 以上 8.0 未満	2.0 以下	
YR(黄赤)系	8.0 以上	2.0 以下	※
	3.0 以上 8.0 未満	4.0 以下	
Y(黄)系	8.0 以上	2.0 以下	※
	3.0 以上 8.0 未満	4.0 以下	
その他	8.0 以上	1.0 以下	※
	3.0 以上 8.0 未満	2.0 以下	

※ 樹林地などの近接地では避ける。

表 大規模建築物等の屋根の基本とする色彩（商業系市街地）

色相	明度	彩度
R(赤)系	6.0 以下	2.0 以下
YR(黄赤)系	6.0 以下	4.0 以下
Y(黄)系	6.0 以下	4.0 以下
その他	6.0 以下	2.0 以下



高層部を周辺のまち並みと調和する配色とした商業ビル



建材を組み合わせ色彩を分節化した商業ビル

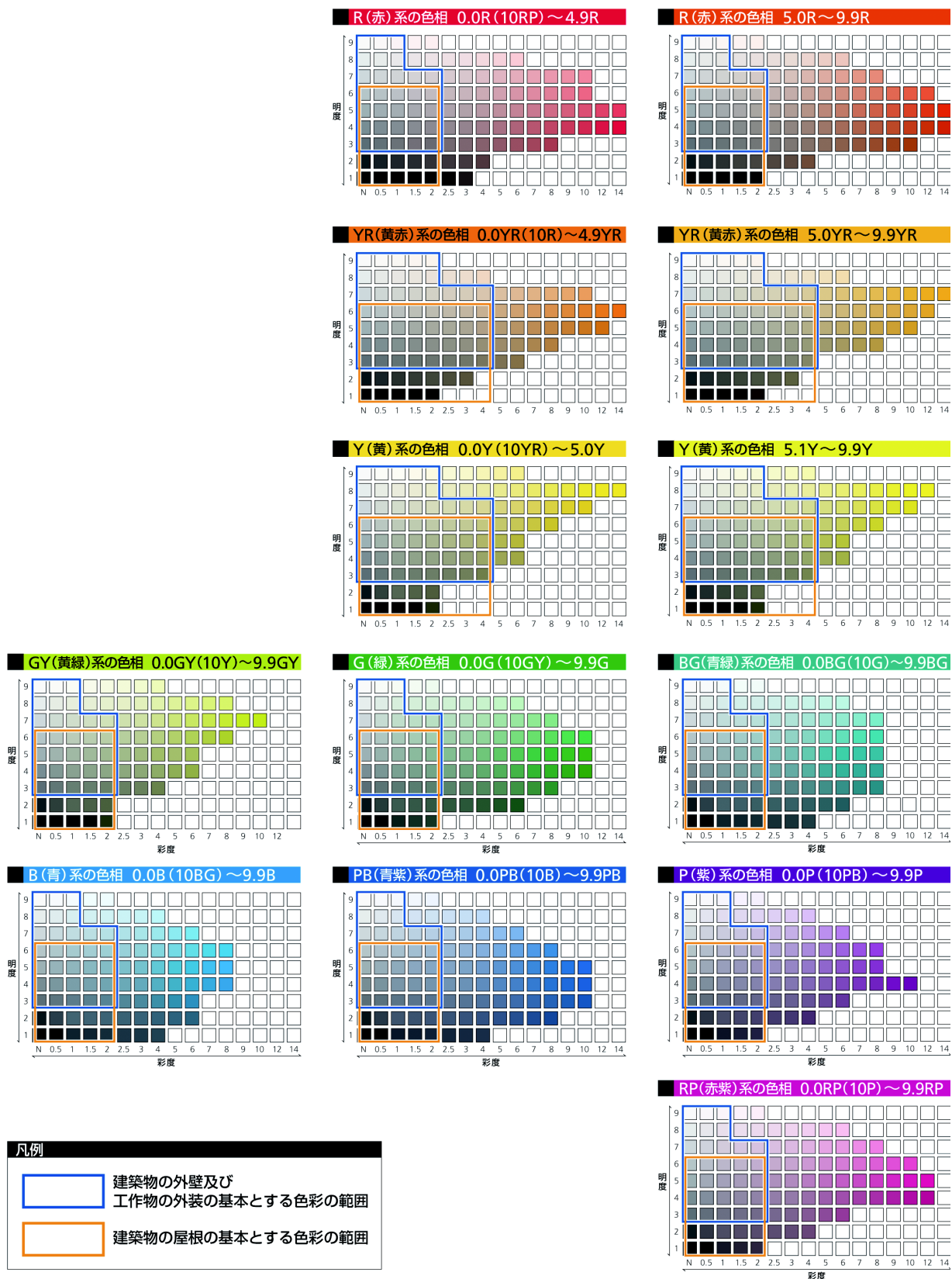


図 外壁・外装および屋根の基本とする色彩の範囲（商業系市街地）

イ 建築物や工作物の形態意匠・その他の配慮事項

秩序があるなかにもにぎわいのある景観の形成を図るため、まちかどや店先におけるにぎわいの演出とともに、市街地の成り立ちなどの特性をふまえた形態意匠の協調（調和や連続性への配慮）などにより、そのまちらしさが感じられるまち並みの創出に配慮が必要です。

表 商業系市街地における形態意匠等の配慮事項

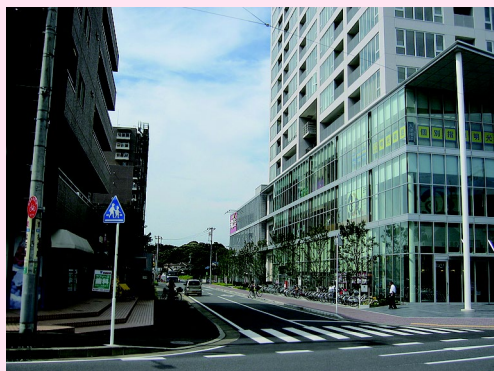
配慮事項
- 敷地内は積極的に緑化を行い、四季を感じさせる植栽により季節感を演出するなど、みどり豊かな景観を創出する。 - 樹種の選定にあたっては、周囲の自然環境との調和や生物多様性を考慮し、在来種や郷土種などを活用して景観に配慮する。 - 出入口周りやまちかど、人の視線をひきつける場所では、みどりや花などにより、うるおいある空間の創出に配慮する。 - 軒や日よけをはじめ建築物や工作物の形態・意匠は、商店街などで協力しあい、共通の要素をもたせることによって、にぎわいの中にもそのまちらしい雰囲気を感じられるよう工夫する。 - まちかど（交差点に面する部分）では、コーナー性を意識した形態・意匠やシンボルツリーなどの緑化により、まちかどにふさわしい演出を図る。 - 周辺のまち並みから突出する高さとなる場合は、ゆるやかなスカイラインを形成するよう、緩衝となるみどりの配置や中・高層部の壁面後退、軒線をそろえるなど、地区や通りが持つ空間のスケールとの調和に配慮する。



まちかどの演出



低層部のにぎわいの演出の例



高層部の壁面後退



壁面やスカイラインのまとまり

表 商業系市街地における項目別の形態意匠等の配慮事項

項目		配慮事項
建築物等	配 置	人々が回遊の間に休憩や滞留ができる、植栽やベンチが整備されたオープンスペースを積極的に設ける。単独敷地のみでオープンスペースを設けることが難しい場合には、隣接する敷地や公共空間と連続したオープンスペースの創出に努める。
	外 壁	- 隣接する建築物や新旧の建築物相互の壁面の位置や意匠等を協調させ、まとまりのあるまち並みの創出に配慮する。 - 大規模な建築物の場合は、商業地にふさわしいまち並みを形成するため、低層部のしつらえや開口部を工夫するとともに、店先の個性の演出を図る。 - 低層部は透過性の高い素材を用いるなど、昼夜間においてにぎわいや開放感を演出するよう努める。シャッターを設置する場合は、まちのにぎわいを分断しないよう、透過性のある形態・素材を工夫する。
	屋根・屋上	周辺の建築物とゆるやかなスカイラインを形成するよう、屋根の形状を工夫する。
	バルコニー等	- 建物本体と調和した意匠とし、物干し、空調室外機等が露出しないよう透過性の高い形態や素材を避けるなど工夫する（ガラスは透明でないものとするなど）。 - 大規模な建築物は、単調な壁面の連続とならないよう、バルコニー等の形態・意匠を工夫する。
	屋外階段等	大規模な建築物の場合は、屋外階段が通りから目立たないよう、配置を工夫する。
	付帯設備類	設備類（太陽光発電設備等を含む）は通りから目立たない場所に配置する。
	付 帯 施 設	立体駐車場やごみ置場等は、外部から見えにくい位置に設ける。
	照 明	商業地においては、にぎわいや人の流れを誘導するような光による演出を行い、回遊して楽しめる夜間景観とする。 【下図（市街地特性ごとの色温度の目安）の商業地参照】
工 作 物 等	柵 及 び 塀	通りや周辺に対して圧迫感を与えるような柵・塀の設置は控え、透過性のあるものや生け垣とするなど、開放的なまち並みの創出に配慮する。
	柱 類	照明灯やサインポールは、商店街などで協力しあい、共通の要素をもたせることによって、にぎわいの中にもそのまちらしい雰囲気が感じられるよう工夫する。
	鉄塔、電波塔 煙突、高架水槽 太陽光発電設備等	- 周辺に対して圧迫感を与えないよう配慮し、敷地境界から後退させるなど配置を工夫する。 - 落ち着いた形態とし、施設周辺は緑化による修景を行うなど、周辺のまち並みとの調和に配慮する。
	製造施設 貯蔵施設	- 周辺に対して圧迫感を与えないよう配慮し、敷地境界から後退させるなど配置を工夫する。 - 落ち着いた形態とし、施設周辺は緑化による修景を行うなど、周辺のまち並みとの調和に配慮する。
開発行為		- 事業地内のオープンスペースと隣接地のオープンスペースが連続するよう配慮すること。 - 電柱類は、目立たない場所に設置するなどの工夫をすること。 - 沿道側に設置する擁壁やブロックは、化粧タイプ又はそれに準ずる左官仕上げ等とし、周囲からの見られ方に配慮する。

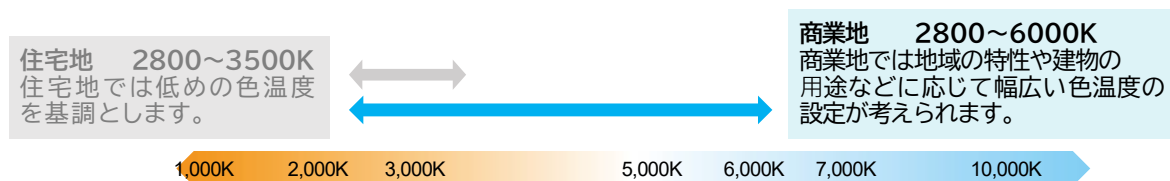


図 市街地特性ごとの色温度の目安

(3) 工業系市街地

先進性と親しみが感じられる景観の形成

ア 建築物や工作物の色彩の配慮事項

工場や倉庫等の産業施設が集積する工業系市街地では、清潔感が感じられる明るい色調を基本とし、先進性が感じられる色彩景観を目指します。

付帯施設や外構、工作物等を含む外観全体の見え方を工夫し、周辺環境と調和する親しみやすい工業地景観の創出に配慮することが必要です。

表 工業系市街地における色彩の配慮事項

配慮事項	
・工場地としての清潔感が感じられる明るい色調を基本とし、金属やガラス等の素材を活かすなど先進性が感じられる色使いなどに配慮する。 ・周辺の事業所と協調し、まとまりが感じられる色彩景観の形成に努める。 ・周辺のまち並みとの調和に配慮し、まち並みから突出するような鮮やかな色彩や暗い色彩、対比の強い配色を避ける。 ・外観全体の調和に配慮し、外壁や屋根、その他の部位の配色を整える。 ・金属板やガラスなどを用いる場合は、周辺への影響に配慮し、光を強く反射する材料はできるだけ避ける。 ・生産施設や倉庫等は、外壁や屋根等の定期的なメンテナンスを行うなど、美観を維持するとともに、清潔で親しみやすい外観とする。 ・建物用途が混在する地域では、相互の調和に配慮し、明るく落ち着いた色彩景観の形成に努める。 ・外観のアクセントとなる色彩を用いる場合又は鮮やかなコーポレートカラー等を用いる場合は、まち並みとの調和、建築物の外観全体の調和に配慮し、建築物の形態に合わせた塗り分けを行うなど、小面積で効果的な表現となるよう工夫する。	
	
清潔感と先進性が感じられる事業所	周辺のまち並みと調和する親しみやすい事業所
	
小面積で効果的にアクセントカラーを使用した事業所	形態に合わせてアクセントカラーを使用した事業所

表 工業系市街地における項目別の色彩の配慮事項

項目		配慮事項
建築物等	外 壁	・圧迫感の強い高彩度色や低明度色を避け、高明度・低彩度色を基本とする。なお、樹林地や斜面林などに近接する場合は、みどりから突出しやすい高明度色（明度 8.0 を超える色彩）の使用を避ける。 ・大規模な生産施設や倉庫等は、単調な配色を避け、形態の変化に対応して色彩の分節を図るなど、威圧感の少ない親しみやすい外観となるよう工夫する。
	屋根・屋上	・周囲のまち並みから突出しやすい高彩度色や高明度色を避ける。 ・外壁と色相をそろえるなど、外観全体の調和に配慮する。 ・陸屋根とする場合は、屋上面の色彩が周囲の家並みから突出しないよう配慮する。
	バルコニー等	・手すり部は、外壁と調和した色彩や素材を基本とする。 ・軒天や戸境壁等に違和感の強い高彩度色や低明度色を用いることを避ける。
	屋外階段等	・屋外階段等は、外壁の色彩との調和に配慮する。
	付帯設備類	・設備機器や配管、ダクト、太陽光発電設備等は、外壁や屋根の色彩と調和した落ち着いた色彩を用いる。
	付 帯 施 設	・立体駐車場やごみ置場等は、建築物や外構と調和した落ち着いた色彩を用いる。 ・生産設備、タンク等は、その機能を重視し、派手な色彩の使用や絵画、スローガンなどの掲出を避ける。
	敷地内外構	・駐車場やエントランスなどの舗装色は、周辺の道路との調和や一体性に配慮する。 ・植栽柵などの色彩は、周辺の道路やまち並み、当該建築物の外壁等との調和に配慮する。
工作物等	柵 及 び 堀	・柵や堀を設ける場合は、できるだけ透過性のあるものを採用し、敷地境界部の植栽が映える、こげ茶やベージュ、灰色など落ち着いた色彩を基本とする。周辺から突出するような白などの高明度色や高彩度色を用いることを避ける。
	柱 類	・照明柱やサインポールなどの柱類は、こげ茶やベージュ、灰色など落ち着いた色彩を基本とする。
	鉄塔、電波塔 煙突、高架水槽 太陽光発電設備等	・鉄塔や電波塔は、光沢を抑えたこげ茶や灰色など落ち着いた色彩を基本とする。 ・太陽光発電設備は、光沢を抑えた落ち着いた色彩を基本とする。 ・建築物等の屋上等に設置する場合は、建築物等との一体性に配慮し、違和感の少ない色彩を基本とする。
	製造施設 貯蔵施設	・周辺との調和に配慮した落ち着いた色彩を用いる。

表 大規模建築物等の外壁・外装の基本とする色彩（工業系市街地）

色相	明度	彩度	備考
R(赤)系	8.0 以上	1.0 以下	※
	5.0 以上 8.0 未満	1.0 以下	
YR(黄赤)系	8.0 以上	2.0 以下	※
	5.0 以上 8.0 未満	3.0 以下	
Y(黄)系	8.0 以上	2.0 以下	※
	5.0 以上 8.0 未満	3.0 以下	
その他	8.0 以上	1.0 以下	※
	5.0 以上 8.0 未満	1.0 以下	

※ 樹林地などの近接地では避ける。

表 大規模建築物等の屋根の基本とする色彩（工業系市街地）

色相	明度	彩度
R(赤)系	6.0 以下	2.0 以下
YR(黄赤)系	6.0 以下	4.0 以下
Y(黄)系	6.0 以下	4.0 以下
その他	6.0 以下	2.0 以下



高明度・低彩度色が基本となっている工業施設



カラーグラデーションによる外壁の分節化と
広告物のバランス（令和3年度松戸景観奨励賞受賞）

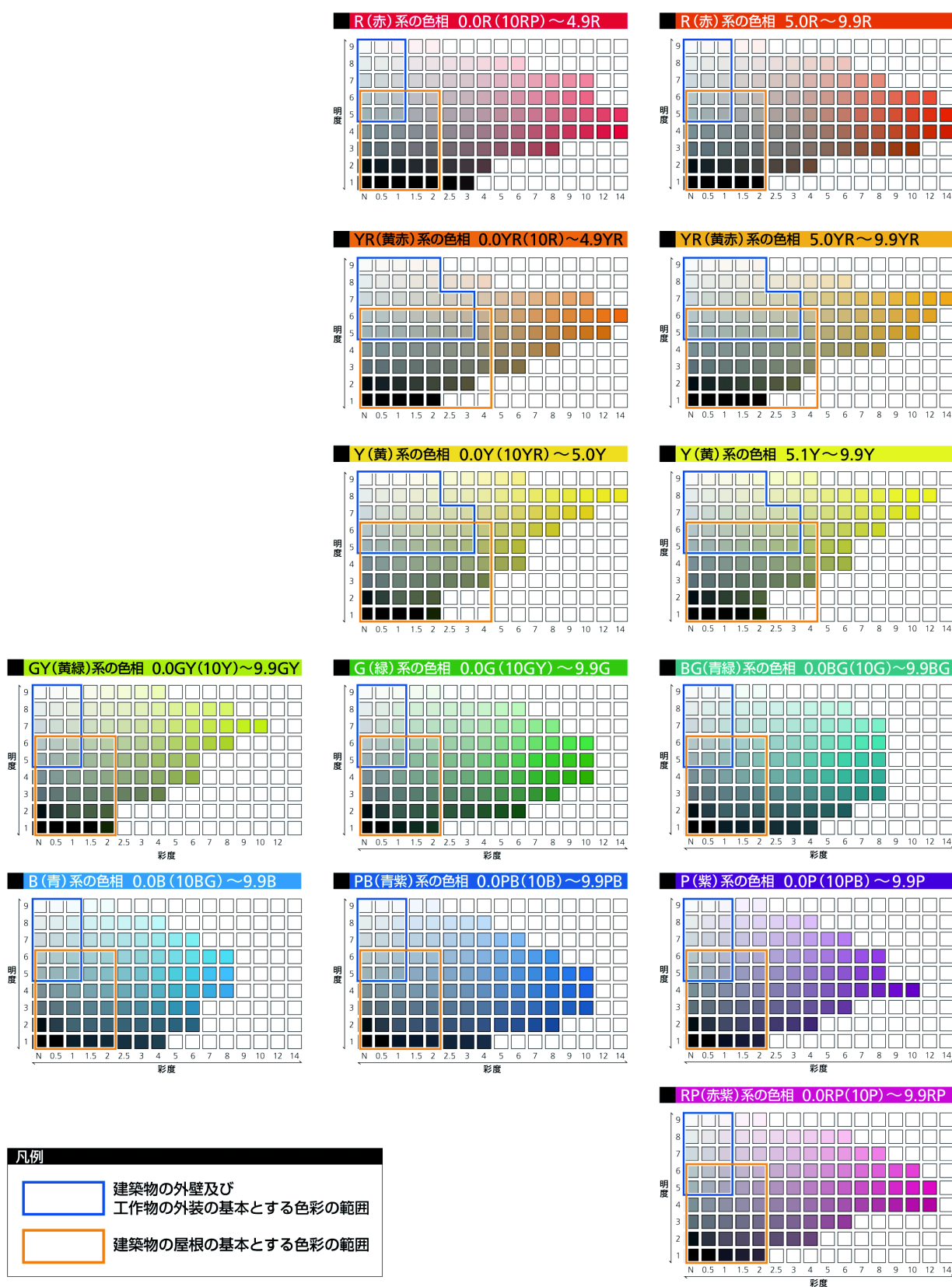


図 外壁・外装および屋根の基本とする色彩の範囲（工業系市街地）

イ 建築物や工作物の形態意匠・その他の配慮事項

働く場と生活の場が調和し、うるおいや親しみが感じられる景観の形成を図るため、施設の圧迫感の軽減や、積極的な緑化や環境美化など、快適な操業環境、住環境の確保に配慮が必要です。

表 工業系市街地における形態意匠等の配慮事項

配慮事項
- 敷地境界部のオープンスペースは積極的に緑化を行い、四季を感じさせる植栽により季節感を演出するなど、みどり豊かな景観を創出する。 - 樹種の選定にあたっては、周囲の自然環境との調和や生物多様性を考慮し、在来種や郷土種などを活用して景観に配慮する。 - 工場や倉庫、商業・流通施設、住宅などが混在する場所では、敷地境界部にできるだけオープンスペースを確保し、緑化を行うなど、相互に快適な操業環境、住環境が確保できるよう配慮する。 - 通りからの見え方に配慮し、施設の形態・意匠の工夫や環境美化により、清潔感や親しみの感じられるまち並みを創出する。 - 敷地内に複数の施設がある場合は、施設相互の形態や意匠を協調させる、または、設備や配管類を修景するなど、敷地全体での統一感が感じられるよう工夫する。 - 周辺のまち並みから突出する高さとならないよう配慮する。やむを得ず突出する高さとなる場合は、ゆるやかにまち並みが連続するよう、緩衝となるみどりの配置や中・高層部の壁面後退など、地区や通りが持つ空間のスケールに配慮する。



みどり豊かな景観の創出



施設の形態・意匠の工夫、敷地境界部の緑化



エントランス周辺の緑化や製造施設の修景



生垣と透過性のある柵による敷地境界

表 工業系市街地における項目別の形態意匠等の配慮事項

項目		配慮事項
建築物等	外 壁	大規模な建築物の場合は、歩行者の目線に近い低層部における良好な景観形成に配慮し、石材などの自然素材やガラスなどの開放感のある素材の使用など、壁面に表情をもたせるよう工夫する。
	屋根・屋上	周辺の建築物とゆるやかなスカイラインを形成するよう、屋根の形状を工夫する。
	バルコニー等	- 建物本体と調和した意匠とし、物干し、空調室外機等が露出しないよう透過性の高い形態や素材を避けるなど工夫する（ガラスは透明でないものとするなど）。 - 大規模な建築物の場合は、単調な壁面の連続とならないよう、バルコニー等の形態・意匠を工夫する。
	屋外階段等	大規模な建築物の場合は、屋外階段が通りから目立たないよう、配置を工夫する。
	付帯設備類	設備類（太陽光発電設備等を含む）は通りから目立たない場所に配置する。
	付帯施設	立体駐車場やごみ置場等は、外部から見えにくい位置に設ける。
工作物等	柵及び塀	通りや周辺に対して圧迫感を与えるような柵・塀の設置は控え、透過性のあるものや生け垣とするなど、閉鎖的なまち並みにならないよう配慮する。
	柱 類	照明灯やサインポールは、華美な装飾は避け、周辺のまち並みとの調和に配慮する。
	鉄塔、電波塔 煙突、高架水槽 太陽光発電設備等	- 周辺に対して圧迫感を与えないよう配慮し、敷地境界から後退させるなど配置を工夫する。 - 落ち着いた形態とし、施設周辺は緑化による修景を行うなど、周辺のまち並みとの調和に配慮する。
	製造施設 貯蔵施設	- 周辺に対して圧迫感を与えないよう配慮し、敷地境界から後退させるなど配置を工夫する。 - 落ち着いた形態とし、施設周辺は緑化による修景を行うなど、周辺のまち並みとの調和に配慮する。
開発行為		- 事業地内のオープンスペースと隣接地のオープンスペースが連続するよう配慮すること。 - 電柱類は、目立たない場所に設置するなどの工夫をすること。 - 沿道側に設置する擁壁やブロックは、化粧タイプ又はそれに準ずる左官仕上げ等とし、周囲からの見られ方に配慮する。

5

色彩効果を活かした景観形成

景観計画を策定するにあたり、本市の建築物等について色彩の実態調査を行いました。

ここでは、実態調査に基づき、本市の景観要素を活かしながら、市民の誇りと愛着を喚起する美しい生活環境を整えるよう誘導するため、建築物や工作物などを建てる際の色彩について、全市共通の具体的に配慮すべき事項を定めます。

色彩の秩序への配慮

- ・景観の中で目立たせるべきものと、馴染ませるべきものの役割分担に配慮し、秩序が感じられる色彩景観の形成を図る。
- ・建築物等は、重要な景観要素である斜面林の豊かなみどりや、河川の連続する水辺、社寺などの歴史的・文化的資源の存在感を際立たせ、過剰に存在感を顕示（誇示）しないよう配慮する。

現況のまち並みとの一体感や連続性への配慮

- ・周辺の建築物等の色彩を確認し、既存のまち並みの中に違和感なく収まるような色彩を選定する。
- ・商店街や工場地などにおいては、事業者どうしが協力して低層部の色調を揃えたり、共通性のあるアクセント色を用いるなど、一体感や連続性が感じられる色彩景観の形成を図る。

使用する色彩どうしの調和への配慮

- ・ひとつの建築物等に必要以上の色彩を用いないようにし、各部の色彩を同色相でそろえるなど、外観に調和が感じられるよう配色を工夫する。
- ・建築物本体と、それに付帯する広告物や前面舗装、設備機器類などの色彩に共通性をもたせ、各要素の色彩に調和が感じられるよう配色を工夫する。
- ・周辺の建築物等と色相や色調をそろえるなど、まち並みに調和が感じられる配色を工夫する。

建築物等の規模や形態、素材との調和への配慮

- ・建築物等の規模を考慮し、威圧感や違和感を和らげるような色彩を基調とするとともに、配色の工夫によって周囲の景観になじませるよう配慮する。
- ・色彩の使い分けは、基壇部と高層部、機能に応じた外観の凹凸、外壁とバルコニーなど、建築物等の形態を考慮して行うようにし、形態との相関が低い色分けや具象性の高い絵画的表現などを避けるように配慮する。
- ・表面的な色彩の工夫ばかりでなく、材質感を活かした表情豊かな外観の形成に配慮する。

色彩の心理的効果への配慮

- ・色彩の明暗や暖色と寒色など、色彩が与える心理的効果を適切に活かし、建築物等の立地や機能をふまえた心地よい外観の形成に配慮する。
- ・色彩の心理的効果に対する過度の期待や即物的なイメージを反映した配色に留意し、建築物等単体のイメージと周辺を含む地域イメージとのバランスを図る。

色彩の経年変化をふまえた材料選定への配慮

- ・建築物等が長期にわたって外気や風雨にさらされることをふまえ、経年変化に耐える色彩や材料の選定を行う。
- ・経年変化によって風格を増す木材や石材などの自然素材の積極的な使用を検討する。
- ・汚損した色彩については、周辺に不快感を与えないよう適切にメンテナンスを行う。

色彩が周辺に与える影響や安全性への配慮

- ・光沢のある仕上げ材等に鮮やかな色彩を使用した場合、隣接する建築物等に色彩が反射して映り込むことがあるため、周辺への影響に配慮して色彩や材料の選定を行う。
- ・道路沿いや交差点付近などにおいては、交通標識や信号などの機能に障害を与えない色彩となるよう配慮する。